

- 31:1 【主】よ。私はあなたに身を避けています。私が決して恥を見ないようにしてください。あなたの義によって、私を助け出してください。
- 31:2 私に耳を傾け、早く私を救い出してください。私の力の岩となり、強いとりでとなつて、私を救ってください。
- 31:3 あなたこそ、私の巖、私のとりです。あなたの御名のゆえに、私を導き、私を伴ってください。
- 31:4 私をねらってひそかに張られた網から、私を引き出してください。あなたは私の力ですから。
- 31:5 私の霊を御手にゆだねます。真実の神、【主】よ。あなたは私を贖い出してくださいました。
- 31:6 私は、むなしい偶像につく者を憎み、【主】に信頼しています。
- 31:7 あなたの恵みを私は楽しみ、喜びます。あなたは、私の悩みをご覧になり、私のたましいの苦しみを知っておられました。
- 31:8 あなたは私を敵の手に渡さず、私の足を広い所に立たせてくださいました。
- 31:9 私をあわれんでください。【主】よ。私には苦しみがあるのです。私の目はいらだちで衰えてしまいました。私のたましいも、また私のからだも。
- 31:10 まことに私のいのちは悲しみで尽き果てました。私の年もまた、嘆きで。私の力は私の咎によって弱まり、私の骨々も衰えてしまいました。
- 31:11 私は、敵対するすべての者から、非難されました。わけても、私の隣人から。私の親友には恐れられ、外で私に会う者は、私を避けて逃げ去ります。
- 31:12 私は死人のように、人の心から忘れられ、こわれた器のようになりました。
- 31:13 私は多くの者のそしりを聞きました。「四方八方みな恐怖だ」と。彼らは私に逆らつて相ともに集まったとき、私のいのちを取ろうと図りました。
- 31:14 しかし、【主】よ。私は、あなたに信頼しています。私は告白します。「あなたこそ私の神です。」
- 31:15 私の時は、御手の中にあります。私を敵の手から、また追い迫る者の手から、救い出してください。
- 31:16 御顔をあなたのしもべの上に照り輝かせてください。あなたの恵みによって私をお救いください。
- 31:17 【主】よ。私が恥を見ないようにしてください。私はあなたを呼び求めていますから。悪者はずかしくてください。彼らをよみで静まらせてください。
- 31:18 偽りのくちびるを封じてください。それは正しい者に向かつて、横柄に語っています。高ぶりとさげすみをもって。
- 31:19 あなたのいつくしみは、なんと大きいことでしょう。あなたはそれを、あなたを恐れる者のためにたくわえ、あなたに身を避ける者のために人の子の前で、それを備えられました。
- 31:20 あなたは彼らを人のそしりから、あなたのおられるひそかな所にかくまい、舌の争いから、隠れ場に隠されます。
- 31:21 ほむべきかな。【主】。主は包囲された町の中で私に奇しい恵みを施されました。
- 31:22 私はあわてて言いました。「私はあなたの目の前から断たれたのだ」と。しかし、あなたは私の願いの声を聞かれました。私があなたに叫び求めたときに。
- 31:23 すべて、主の聖徒たちよ。【主】を愛しまつれ。【主】は誠実な者を保たれるが、高ぶる者には、きびしく報いをされる。
- 31:24 雄々しくあれ。心を強くせよ。すべて【主】を待ち望む者よ。

導入

詩篇 31 篇は、非常な苦しみを表現した詩篇です。この詩篇の著者であるダビデは、大きな試練を耐え忍んだ後に、神が彼をどのように救ってくださったか振り返っています。この詩篇は、苦しみから確信への旅路を繰り返す詩篇だと言った人がいます。誰の人生にも試練は訪れます。

病気になったり、家族を失ったり、人間関係で深く傷ついたり、悩みの種はさまざまですが、そのすべてが現実にかかる問題であり、心に深い傷跡を残します。
ヤコブの手紙は、これらの試練が起こるのは、私たちの品性が練られるためだと語ります。

ヤコブ 1 : 2-4 1:2 私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。 1:3 信仰がためされると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。 1:4 その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。

誰もが試練に遭いますが、これらの試練にどう対応するかで違いが生じます。
苦しみの中で聖霊に頼るなら、大きな勝利を収めることができます。

例

ある宣教師が、中国人の信徒と話していました。彼はクリスチャンとして歩むことに葛藤を感じていました。信徒は宣教師に言いました。「私の心の中には、まるで黒い犬と白い犬がいて戦っているようです。（黒い犬は古い罪の性質を象徴し、白い犬は聖霊を象徴しています。）
宣教師が「どちらが勝っていますか」と尋ねると、信徒は答えました。「餌を多くやったほうが勝ちます。」

試練に遭う時、私たちが古い罪の性質という餌を自分自身の思考に与えてしまうと、たいへん残念な結果になります。一方、神のみことばである聖書を与えるなら、置かれた状況で大きな勝利を収めることができるでしょう。

聖書が最初にギリシャ語に翻訳されたとき、この詩篇には次のようなタイトルがついていました。

「極限の恐怖の中で記された」

それでも、ダビデは自らの苦しみを振り返り、15 節で、「私の時は、御手の中にあります。」つまり、「私の将来はあなたの御手の中にあります」と言えたのです。

世界の各地には、虐待や不正、差別、暴力を受けていて、そこから救われる望みはないという状態の兄弟姉妹が大勢います。

現在、イスラム教国に住むクリスチャンはあらゆる危険に取り囲まれながら暮らしています。彼らは、この詩篇を記したダビデに共感できるでしょう。

今日、私たちは詩篇 31 篇から何を学ぶことができるでしょう。また、苦しむ教会のために祈る今日、どのような確信をもって祈ることができるでしょう。

1. ダビデの置かれた状況 (1-13 節)

試練に遭った時、どんな悩みがあるのか、また神に対してどんな不満があるのかを書き出してみるとよいでしょう。

次のような内容を書き出すことができます。

1. 起きている問題に対して自分が取った対処。
2. 神にしていきたいこと。
3. 神のみことばの約束の中で、聖書の登場人物に神が約束された内容から自分にも神がしてくださいと信じる事柄。

祈りに答えてくださったら、感謝するのを忘れないようにしましょう。「ありがとうございます」と言うために神のもとに戻る人はとても少ないのです。

ダビデも詩篇 31 篇で同じことをしました。そのことが次に挙げる個所に記されています。

ダビデは、救われることを望みました。(1 節、4 節)
ダビデは、救ってくださるのは神だけだと信じました。

神に自分自身の状況を打ち明ける前に、ダビデは神がすばらしいお方であることを語ります。
(1-8 節)

ダビデは、神が彼の岩であると宣言し、自らの置かれた状況で神の御名があがめられることを望んでいます。(3 節)

4 節で、ダビデは「あなたは私の力ですから。」と言いました。

そして 5 節では、「あなたは私を贖い出してくださいました。」と言いました。

悩んでいた、問題を抱えていたりしてたいへんなとき、私たちは救ってくださった神をほめたたえるのでしょうか。

ダビデは、神の変わらぬ愛を認め、ダビデの苦しむたましいに神が配慮してくださると語ります。7 節で、ダビデは「あなたは、私の悩みをご覧になり、私のたましいの苦しみを知っておられました。」と言います。

神は、現在迫害されている教会のことも気にかけておられます。迫害に遭う神の子たちのために私たちが祈ることを神は望まれます。

同時に、迫害に遭う教会に比べれば、私たちの悩みは些細なことですが、それでも神は私たちの悩みにも心を向けてくださいます。

神に苦しみを訴える前に、これまで神がしてくださったことを覚えて神をほめたたえ、私たちの悩みに神が寄り添ってくださることを覚えて感謝するのは良いことです。ダビデはそうしました。

ヨセフも、困難な状況に追い込まれても神のすばらしさに目を向けた人です。

彼は、兄弟を始め、あらゆる人々からひどい仕打ちを受けましたが、彼を苦しめた兄弟と家族にこう言いました。

創世記 50 : 19-20 50:19 ヨセフは彼らに言った。「恐れることはありません。どうして、私が神の代わりでしょうか。50:20 あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした。」

つらいときに神をたたえるのは、自然にできることではありません。

聖霊の助けによってできることです

ですから、自力でしようとしてはいけません。神に助けをいただきましょう。

ダビデは神をたたえてから、心の内を神に打ち明け、自分の置かれた状況について訴えました。心にあることを神に打ち明けてもよいのです。

ダビデは次のように言いました。

1. 私の目はいらだちで衰えました。
2. 私のたましいもからだも弱りました。
3. 嘆きで力尽きました。
4. 友人も私のそばに来るのを怖がります。

ダビデの悩みに比べて、私たちの悩みはどれほどのものでしょうか。世界中で迫害を受けている教会に比べて、私たちの悩みはどれほどのものでしょうか。

2. ダビデの確信 (14-16 節)

14 節で、ダビデは、「しかし、【主】よ。私は、あなたに信頼しています。私は告白します。『あなたこそ私の神です。』」と叫びます。

ダビデは、神としっかりつながっていました。家族や友人よりも深い絆で結ばれた大切な関係でした。

もっとも深い人間関係と言え、夫婦や親子の関係でしょう。または、親友の場合もあるかもしれません。

ダビデにとって神とのつながりは、そのような人間関係よりももっと深く、もっと大切なものでした。

私たちはどうでしょう。

私たちにとって神とのつながりは、人間関係よりも深いと言えるでしょうか。

誰も助けてくれない、助けることができないとき、神は助けてくださいます。

私には、デービッドという友人がいます。私たちは、英国で週に一度ゴルフをいっしょにプレイしていました。彼は、アフリカの宣教師です。

彼は以前、宣教師であることを理由に、一年以上投獄され、毎週拷問を受けました。

やっとこの国を逃れたとき、彼は心身ともにボロボロでした。心と体が癒されるのに 2 年もかかりました。

このような悲惨な経験から立ち直れたのは、自身の経験を本にしたおかげでした。

神はこの本を用いて、多くのたましいを救いに導いてくださいました。

デービッドが拷問にあったのは非常に痛ましいことですが、このすべてを通らされたのは神ご自身です。彼は今、すべてのことを神に感謝しています。

誰もデービッドを助けることができなかつたとき、助けてくださったのは神でした。

私はぜひ、デービッドを日本に招いて、彼の本を日本語にしたいと願っています。いつかそれが実現するかもしれません。

強制収容所に連行され、拷問を受け、身も心もずたずたにされたクリスチャンが、その経験を振り返って言うのは、ただ神への信仰が頼みであったこと、そしてそのような状況でもイエスの愛を実感したということです。

では、皆さんがよくご存じの個所に進みましょう。「私の時は、御手の中にあります。」 (15 節)

英語のニューリビング訳では、「私の将来はあなたの手の中にあります。」と訳されています。

この真理を知り、それを信じられるのはすばらしいことです。

迫害に遭う教会の人々にとって、彼らの時が神の御手の中にあるというのは励ましです。

神に定められた時になるまで、誰も私たちの命を奪うことはできません。

人が若くして命を落とすことを、私たちは納得できませんが、神がご自身のご計画を成就するお方であると信頼しましょう。

16 節で、ダビデは神の祝福を願います。

ダビデは、民数記 6 : 24-26 に登場するユダヤの祝福を使って、自分の願いを表現します。

ユダヤの伝統では、日々のいけにえをささげた後に、祝福が与えられます。

これはぴったりの個所です。というのも、これは、神の祝福が祭司やナジル人に限定されているのではなく、すべての神の民に与えられることを示した個所だからです。

この箇所や申命記 28 章、そして詩篇 121 篇といった聖書箇所が教えてくれるのは、民に向けられた神の御顔というのは神のご品性を指すことです。太陽の光が人間に自然の祝福をもたらすように、神の御顔の光も、霊的な恵みと祝福をもたらします。

17-18 節で、ダビデは神に訴えます。彼に危害を加えた人たちに対して、神が正義を示してくださいよう求めます。

神の民を虐待したり滅ぼしたりする人たちに対する神の対処を軽く考えてはいけません。ヘブル 10 : 30 には、次のようにあります。

ヘブル 10 : 30 私たちは、「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする」、また、「主がその民をさばかれる」と言われる方を知っています。

ダビデは、神がいつの日か敵を裁いてくださると信じていました。そして、そのとおりになりました。

この後、迫害される教会のために祈ります。そのとき、迫害を加える人々には必ず神の裁きがあるという確信をもって祈りましょう。

例：アマレク人

旧約聖書で神がなぜアマレク人の記憶を消そうとなさったのか考えたことはありますか。

その理由はこうです。イスラエルの民が荒野を越えようと進んでいたとき、アマレク人は何百万人もいるイスラエル人の後方にいた者を攻撃したからです。

一番後ろにいたのは、高齢者や障害者でした。

アマレク人は、攻撃されても身を守ることでできない人々を攻撃し、殺すという非常に汚い手を使いました。

イスラエルの民は躊躇しましたが、神は最終的に、裁きを下してこの人々を滅ぼされました。

19-22 節には、「賛美と感謝」が記されています。

もしかすると、神が正義をもたらされるという思いから、ダビデの心に賛美が湧きおこったのかもしれない。

その中で、ダビデは 4 つのことに注目します。

1. 神のご臨在 (19 節)
2. 神の守り (20 節)
3. 神の救い (23 節)
4. 神の尽きない愛 (24 節)

これから、迫害を受ける教会のために祈ります。神は私たちの心からの祈りに答えてくださいます。そして、今世界のあらゆる場所で苦しんでいる兄弟姉妹を励まし、強めてくださると確信しましょう。